

# 長崎が描く未来の姿を学びました。

## 『10年後の長崎が目指す街の姿について皆さんで勉強しました』

今、長崎は100年に一度といわれる大きな変化の時を向かえています。

長崎駅前の再開発を中心に、新幹線開業や長崎市役所新庁舎建設など、住んでいる私たちが戸惑うほどの街の構造が、大きく変わろうとしています。

今回は、自治会役員や、民生・児童委員の皆さんで、標記の「長崎が描く未来の姿」を、其々がわかっているつもりでも再度、確認の勉強をしました。

講座の様子



「再確認したかったことは」

- 今、これだけの大改革をして大丈夫なのか
  - 少子化、人口流失対策はどうなっているのか
  - これだけの事業を行って財政は大丈夫なのか
  - 観光だけではなく長崎の基幹産業の育成はこのようなことを少しでも理解しながら、私たちの深堀も、どう変わっていけばよいのかを考える、きっかけ作りとして開催しました。
- 当日は「長崎市都市経営室」の出前講座をお願いし、難しい話をわかりやすく説明して頂き長崎の将来像を参加者一同で学びました。

## 深堀公園の除草作業をしました

八月の酷暑に、南総合事務所と深堀地域センター職員、深堀地区連合自治会が管理する、深堀公園の除草作業を行いました。老人クラブにお願いして、毎月の除草やゴミ拾いをやって頂いていますが、年に数回は本格的に全面的な作業が必要になります。今回は初めて、南総合事務所所有する四輪草刈り機をお借りして、除草作業を致しました。

当日は南総合事務所の職員、深堀地域センターの職員の、大きな協力を頂き、約半日かけてすっきりとした公園がよみがえりました。ご協力を頂いた職員の皆さん、暑い中、ありがとうございました。



## 育児中の皆さんへ

深堀体育館一階に開設された、子育て支援センター「ふるさと」も、随分と地域に定着してきたように見受けられます。子育て中の保護者にとって、暑い夏や、寒い冬などには、自宅にいるより涼スポットとしての利用や、暖房費の節約にもつながり一石二鳥かもしれせん。気楽にお出かけください。

お問い合わせは 電話 八七一・一七七

## 『すこやか運動教室』で健康維持

コロナ禍の中で、外出の機会が少なくなると、様々な心の変調や運動機能の低下につながるそうです。深堀ふれあいセンターでは毎月二回、長崎市の委託を受けた「崎望館」のスタッフが、「すこやか運動教室」を開催しています。

開催日は統一していませんが、ふれあいセンターへ電話して頂ければ、近日の開催日はお知らせすることが可能です。外出もかねて一度会場を覗いてみてはいかがでしょうかでしょう。



## 地域情報紙 第14号

# ふかほり

発行 深堀地区コミュニティ協議会  
 所在 深堀地区ふれあいセンター内  
 長崎市深堀町5丁目182番地  
 電話 871-2387 fax兼用  
 令和4年10月 発行

## 敬老祝賀会が本年も中止に

『本年の敬老祝賀会は、新型コロナウイルス感染症拡大の終息が見通せず、中止の決定をしました』

今年こそは、開催できるとの思いで準備を進めていきましたが、急速な感染拡大を受け、今年も断念いたしました。今年から祝賀会も、暑さ対策としてひと月遅れの十月に開催することとしてご案内の用意を進めていきましたが残念です。

外出の機会も減少し、近所付き合いもままならない現状ですが、できるだけ身近な人同士での会話も心がけましょう。



初秋とはいえ、残暑の残る毎日ですがこの状況乗り越えて、来年こそみんなで元気に会いましょう。深堀地区連合自治会では、祝賀会は中止となりましたが記念だけでもお届けしようと、敬老の日の一日前の日曜日に、該当者の皆さんへお届けすることとしています。

## アウトリーチコンサートが中止になりました

アウトリーチコンサートとは、プロ活動をされている皆さんが、地域の会場に向いて身近に手の届くところで、演奏や歌唱を披露して下さる活動です。

今年も申し込みをしていましたが、現下のコロナ感染拡大を受けて、事業そのものが中止との連絡を頂きました。深堀の皆さんを、格調高いコンサートにご案内できるのを楽しみにしていましたが、来年へと持ち越しとなりました。

## 深堀地区コミュニティ協議会、今後の計画は

### ◎10月広報誌発行

町内各団体の取り組みや、今後の計画をできるだけお伝えできるよう、紙面づくりをしています。

### ◎2023 カレンダー作成

7,8月深堀街角写真募集⇒9月写真選考⇒10月作成印刷発注⇒11月販売⇒12月自治会配布の予定です。

### ◎2023 門松カード作成

9月深堀中学生徒作品選考⇒10月印刷発注⇒12月自治会配布を予定して進めます。

### ◎健康づくり事業

- 10月・・・初心者コース 今年歴史を訪ねて「深堀さるく」を予定。小学生から高齢者まで参加可。
- 11月・・・上級者コース 八郎岳健脚登山を行います。小学生から元気な高齢者まで参加できます。
- 3月・・・中級者コース 中世の山城、城山へ登ります。昨年は11月スズメバチに遭遇したので変更。いずれの募集も、深堀ふれあいセンター便りと自治会広報板で、募集要領をお知らせします。

### ◎深堀ふれあい祭り

今年は館内イベントを中止して、ふれあい広場特産品販売イベントのみ11月20日で開催予定です。

### ◎ふれあい広場イルミネーション

殺風景な冬の広場を、こどもたちの楽しい広場にしようと、毎年ボランティアの皆さんで飾っています。この他、年が変わると二十歳の集い、城下ひな祭り、クリーンアップ事業などを予定しています。

## 成人式の名称が変更されます

令和4年度以降、現在の「成人式」が「二十歳のつどい」へと長崎市では名称変更になります。これは、成人が今までの20歳から18歳へと引き下げられたことにより、それぞれの自治体で、18歳での成人式典と、従来の20歳からの式典を維持する自治体とに組み分けられるためです。長崎市では、18歳で成人はするものの、従来通りお祝いの式典は20歳になってから行うこととした為に、「成人式」ではなく「二十歳のつどい」と名称変更をしています。

深堀地区でも令和5年の式典から、「二十歳のつどい」として多くの若者の今後の活躍を、地域を挙げてお祝いしたいと準備を進めています。

会場も、前年より深堀ふれあいセンターから深堀体育館へと変更して3密にならないよう、コロナ感染対策も十分に講じながら開催する予定としています。

二十歳になった前途洋々の若者を、地域を挙げて応援しましょう。

## せせらぎ水路の整備を行っています。

小学校周辺のせせらぎを、一部だけ数年前に漏水対策工事をしましたが、下流（貝塚遺跡資料館）までの水流の確保がままならず、今回一部だけですが補修工事をして頂いています。

最終的には、上流から資料館前までの水流の確保を目指し、水生昆虫やエビ、メダカなどの生息ができる環境を目指したいと思っています。

現在でも、めだかや手長エビをはじめ川ミナ、ドンポなど多くの生物が住み着いています。まちなかに自然な川が確保され多くの生き物が心の癒しになることを願っています。

## 貝塚遺跡資料館を活用してください。

深堀は縄文の時代から人びとが集落を形成し、現代まで途切れることなく人々の暮らしが続く、貴重な歴史遺産を有するところです。

深堀貝塚遺跡資料館には、縄文、弥生の時代から江戸期までの深堀で出土した遺跡を展示しています。

多くの方が来館することが、今後の展示施設の充実にもつながることから、ぜひ皆さん足を運んでください。

**深堀教会の急傾斜崩壊対策工事が最終段階です。**

深堀の陣屋跡（通称お屋敷山）に建つ深堀教会の斜面復旧工事が最終段階を迎えています。

長い間近隣の住宅にはご協力を頂きましたが、この先大きな安心安全が担保されたことは、町内としても大変うれしいことです。

この地は深堀藩六千石の領主の陣屋がおかれていた場所です。現在もその石垣や階段など往時の面影を残しています。

整備が終わったら、別途散策路の整備も検討する予定です。

**深堀地区コミュニティ協議会とは**

近頃聞きなれない団体名称が増えて、皆さんは理解しにくいところもあるのではないのでしょうか。

今回は、コミュニティ協議会について説明いたします。

この団体は、地域の困りごとや、これからのまちづくりを住民が主体的に考え、行政と協働しながら問題解決を図ってゆくための組織です。

協議会は、連合自治会や民生・児童委員協議会の他、老人会、育成協など、地域内のすべての団体や、地域を応援する企業で構成されています。

活動は成人式、敬老祝賀会をはじめ、ふれあい祭りやふれあい広場のイルミネーション飾りなど、多岐にわたっています。

活動の計画は、年一回の総会で承認され、実務は毎月一回開催する事務局会で検討を重ね、多くの構成団体から実行委員を出して、それぞれの活動がなされています。

深堀地区は其々の団体がとても関係が良く、互いに協力しながら活動をしています。

町内の皆さんも、気づいたときには時間が許す範囲で、気楽にボランティア参加をして頂ければ大歓迎です。

## フォトコンテストを開催しました

撮影場所は深堀地区限定で、歴史・風景・草花など、投稿者から「私の一押し」の深堀の写真を募集し、多くの写真が寄せられました。

多数の応募写真の中から、厳選な審査を行い、十四枚の写真を選んでいただきました。

この写真を使って、令和5年度の深堀カレンダーを作成し、十一月に行われる「深堀ふれあい祭り」会場で一般に販売する予定にしています。

深堀再発見をテーマに、企画したこの事業も、少しずつ形を変えながら、基本は深堀独自の歳時記カレンダーとして、今後も続けて取り組みたいと思っています。

町内はもとより、遠く故郷深堀を離れて暮らす、特に高齢となった皆さんから、「久しく思い出しても懐かしかった」との声も寄せられ、とても嬉しく思っています。

スタッフ一同、「今度の出来が、一番よかったね」と言ってもらえるよう頑張ります。

入選された皆さんには、後日ささやかですが記念品を贈呈の予定です。

## 十月に深堀の歴史探訪を行います

今年は、深堀地区コミュニティ協議会と、ふれあいセンターの共催で、ふるさとの歴史を学ぶ「深堀さるく」を計画しています。

親子で楽しく深堀の歴史に触れる良い機会になるのではないのでしょうか。

## 深堀ふれあい祭りを開催します

十一月十九・二十日、ふれあいセンター内の作品展示と舞台発表及びふれあい広場の物産販売を予定していましたが、今年度は館内行事を自粛して、ふれあい広場のみを開催することとしました。現状コロナ感染状況も、少し終息気配があるものの、館内のイベントは限られた空間の中で、まだ少し感染防止対策に自信が持てません。

今年も二十日の外でのお祭りだけにして、次年度からは思い切り館内を含め全面的な開催にしたいと考えています。



## 災害時の避難所案内と用意するもの

町内の避難所は、ふれあいセンター・深堀体育館・中学校体育館の3カ所です。

災害時3カ所とも開設するとは限らないので必ず確認をして下さい。冷房はふれあいセンターのみ

### 避難にあたって用意するもの

- ◎常用の薬がある人は3日分位の用意とバスタオル等を用意
  - ◎各自マスクとバスタオルなどを用意してください（手指消毒は備えを利用可）
  - ◎腰痛などで敷物やあて物など必要な方は、ご自身で用意してください。
  - ◎食事は2食分くらいと日持ちのするパンか駄菓子類とお茶を用意。
- 避難所は専用施設ではありませんので、皆さんの協力が何より大切です。



9月5日開設の台風11号での避難所利用は、ふれあいセンター30名と深堀体育館に数名でした



避難はひどくなってからでは危険です。ひどくなる前の明るいうちに。火の始末と戸締りを確認してお隣さんへ一声かけて避難しましょう。

問合せ 電話 深堀ふれあいセンター 871-2387 ・深堀地域センター 871-3101

一人での避難が困難の時は遠慮せず自治会長や民生委員へ相談。（日頃の電球交換や電池の入れ替えなども気軽に相談して下さい）